

学年												
小学校						中学校			小笠原村立小笠原中学校 家庭科 2年 年間指導計画			
1	2	3	4	5	6	1	2	3				
4 5	単元名	目的に応じた衣服の選択 (6)				系統単元性の	B 衣食住の生活(4)衣服の選択と手入れ(ア) 小学校で学習した「衣服の動き」「日常着の快適な着方」を基に、中学校では「自分らしい着方」や「日本の伝統的な衣服」を含めた「衣服の選択」について学習していく。					
	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫					
	・衣服の社会生活上のはたらきがわかり、その上で自分らしい着方について考える。 ・和服の文化に関心をもち、浴衣の着用体験を通して、和服の着方を知る。 ・既製服を選ぶポイントがわかる。						つまずきやすいポイント	和服を着用する機会が少ないため、構成や部位の名称の理解が難しい場合がある。				
							工夫・手立て	浴衣の実物を着用する機会を設け、目で見ながら、理解できるようにする。				
知識・技能		目的に応じた衣服の着用について理解している。 衣服の計画的な活用必要性について理解している。 定期考査				思考・表現・判断	社会生活上の役割を果たしながら、自分らしい着方の工夫を考えることができる。 和服文化を受け継ぐ方法を考える。 プリント・定期考査			主体的に学習に取り組む態度	目的に応じた衣服の選択について関心をもち、実生活に生かすことができる。 授業態度・提出物・自己評価	
6 7	単元名	日常着の手入れと保管 (4)				系統単元性の	B 衣食住の生活(4)衣服の選択と手入れ(イ) 小学校では、衣服の取り扱い絵表示をもとにした洗濯の仕方を学習した。中学校では、洗剤の働きについて詳しく学習し、衣服の素材に応じた手入れ・保管の学習をしていく。					
	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫					
	・衣服の状態や素材に応じた手入れの仕方を知る。 ・染み抜き体験や補修技術の実習を通して、衣服の傷みの状況に合わせた方法で補修ができる。 ・衣服に合わせた方法でアイロンかけや収納・保管を適切に行うことができる						つまずきやすいポイント	まつり縫いやボタン付けなど、手縫いの技術を苦手とする場合がある。				
							工夫・手立て	動画を繰り返し見ながら実習できるようにするとともに、練習の時間を多く設ける。				
知識・技能		衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。 定期考査・実技テスト				思考・表現・判断	日常着の状態を見て、衣服に合った手入れの方法を判断し実践することができる。 プリント・定期考査			主体的に学習に取り組む態度	日常着の手入れについて、関心をもち、実生活に生かすことができる。 授業態度・提出物・自己評価	
8 9 10	単元名	生活を豊かにするものの製作 (7)				系統単元性の	B 衣食住の生活(5)生活を豊かにするための布を用いた製作 小学校では、基礎的な技能を活用できる布製品を製作した。中学校では、環境に配慮した衣生活の視点を取り入れた製作計画と製作を行う。					
	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫					
	・布を用いて生活を豊かにするものを考える。 ・製作の計画を立て、手縫いやミシン縫いで生活を豊かにするものをつくる。 ・環境に配慮した衣生活について考える。						つまずきやすいポイント	ミシンの操作を苦手とする場合がある。				
							工夫・手立て	作品製作に入る前に、練習布でミシン準備・直線・曲線・返し縫いを何回も練習させるようにする。 2人1組でペアを組み、進捗状況を確認させるとともに、助け合いができるようにする。				
知識・技能		製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。 実技テスト・作品・定期考査				思考・表現・判断	資源や環境に配慮しながら、生活を豊かにするためのものの製作計画を立て、計画に沿って製作することができる。 製作計画表・定期考査・鑑賞シート			主体的に学習に取り組む態度	製作したものを実生活で活用したり、学習した技術をその他の作品製作に生かそうとしている。 授業態度・提出物・自己評価	

学年							小笠原村立小笠原中学校 家庭科 2年 年間指導計画			
小学校						中学校				
1	2	3	4	5	6	1	2	3		
月	単元名	住まいのはたらきとこちよさ(3)				系統単元性の	B 衣食住の生活(6)住居の機能と安全な住まい方(ア) 小学校では、整理整頓や清掃の仕方について学習した。中学校では、「安全面」に焦点をあてた住まいの整え方を学習していく。			
11	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住まいの基本的な役割について理解する。</li> <li>・ビデオ視聴を通して、日本の伝統的な住まいの特徴を知る。</li> <li>・住まいの空間の使い方について理解する。</li> </ul>						つまずきやすいポイント	自分の住んでいる家以外の間取りについてイメージしにくい場合がある。		
							工夫・手立て	住宅メーカーのHPで、様々な家の間取りや写真を見ながら、イメージさせるようにする。		
評価規準										
知識・技能	住居の基本的な機能について理解している。家族の生活と住空間との関わりが分かりについて理解している。				定期考査	思考・表現・判断	家族と共にすまうために必要な工夫について考えることができる。		主体的に学習に取り組む態度	住居の機能について関心を持ち、実生活に生かそうとしている。
						プリント・定期考査		授業態度・提出物・自己評価		
月	単元名	安全な住まいで安心な暮らし(5)				系統単元性の	B 衣食住の生活(6)住居の機能と安全な住まい方(イ) 小学校では、整理整頓や清掃の仕方について学習した。中学校では、「安全面」に焦点をあてた住まいの整え方を学習していく。			
11 12	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭内の事故の種類と、その原因を知る。</li> <li>・家庭内事故防止商品を考えることを通して、幼児や高齢者の安全を考えた住まい方について工夫する。</li> <li>・地域さまざまな災害に備えて、室内を安全に整備する必要とその方法を調べ、理解する。</li> </ul>						つまずきやすいポイント	住環境を整えることについては保護者に任せきりにしている場合が多く、興味関心が低い。		
							工夫・手立て	ジグソー学習での調べ学習で、様々な観点から住環境を整えることの重要性について学ばせる。非常用持ち出し袋を実際に作り発表し合うことで、興味関心をもたせ、家庭での活用を促す。		
評価規準										
知識・技能	家庭内の事故や自然災害に備えて家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。				定期考査	思考・表現・判断	住生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。		主体的に学習に取り組む態度	安全な住まい方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
						発表活動、プリント、定期考査		授業態度・提出物・自己評価		
月	単元名	持続可能な住生活(1)				系統単元性の	B 衣食住の生活(7)衣食住の生活についての課題と実践 C 消費生活・環境(3)消費生活・環境についての課題と実践 小学校では、季節の変化に合わせた自然を生かした住まいの作りについて学習した。中学校でも引き続き省エネルギーな住生活の整え方について学習していく。			
12	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な社会の実現に向けて、様々な住まいと住まい方の工夫があることを知る。</li> </ul>						つまずきやすいポイント	環境に配慮した住宅について、興味関心が低い。		
							工夫・手立て	視覚教材を用いて、各自治体で環境に配慮した、様々な住居やビルなどが作られていることやその効果について知り、興味関心をもたせる。		
評価規準										
知識・技能	環境に配慮した住宅について理解している。				定期考査	思考・表現・判断	環境や気候に合わせた住環境の整え方を工夫しようとしている。		主体的に学習に取り組む態度	環境に配慮した住環境について関心を持ち、実生活に生かそうとしている。
						プリント・定期考査		授業態度・提出物・自己評価		

学年							小笠原村立小笠原中学校 家庭科 2年 年間指導計画			
小学校						中学校				
1	2	3	4	5	6	1	2	3		
月	単元名	家庭生活と消費 (1)				系単元性の	C 消費生活・環境(1)金銭の管理と購入(ア) 小学校では、買い物の仕方や物や金銭の大切さ、計画的な金銭の使い方について学習した。中学校では、より詳しい売買契約の仕組みや情報活用した購入の工夫を学習していく。			
1	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫			
	・物資とサービスの特徴を理解する。 ・収支のバランスをはかり、計画的に金銭管理する必要性を理解する。						つまずきやすいポイント	金銭管理をすることの良さについて理解できない場合がある。		
							工夫・手立て	人生のリスクについて考えさせることを通して、自分のライフプランに合わせて、お金を管理することの重要性を学習する。		
	評価規準									
知識・技能	物資・サービスについて理解している。計画的な金銭管理の必要性について理解している。				思考・表現・判断	収支のバランスを考え、金銭管理を工夫することができる。		商品(物資・サービス)の選択と金銭管理について、関心をもち実生活で生かそうとしている。		
	定期考査					プリント・定期考査		授業態度・提出物・自己評価		
月	単元名	購入・支払いと生活情報 (4)				系単元性の	C 消費生活・環境(1)金銭の管理と購入(イ) 小学校では、買い物や物や金銭の大切さ、計画的な金銭の使い方について学習した。中学校では、消費者被害や消費者を支える社会の仕組みについて学習し、正しい消費行動ができるように学習していく。			
2 3	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫			
	・店舗販売と無店舗販売の特徴を理解する。 ・売買契約について問題発生原因や予防方法を含め、理解する。 ・即時払い、前払い、後払いの特徴を理解し、利点と問題点を理解する。						つまずきやすいポイント	現金以外のクレジットカードやプリペイドカードの仕組みなどを理解することが難しい場合がある。		
							工夫・手立て	図示しながら仕組みを説明するとともに、現金・プリペイドカード・クレジットカードのそれぞれの利点と欠点について比較しながら説明する。		
	評価規準									
知識・技能	売買契約の仕組みについて理解している。				思考・表現・判断	売買契約の課題や危険性を考慮し、正しい消費行動のための判断ができる。		計画的な金銭管理や消費行動について関心をもち、実生活に生かそうとしている。		
	定期考査					プリント・定期考査		授業観察・提出物・自己評価		
月	単元名	消費者被害と消費者の自立 (4)				系単元性の	C 消費生活・環境(2)消費者の権利と責任 小学校では、買い物や物や金銭の大切さ、計画的な金銭の使い方について学習した。中学校では、消費者の権利と責任について学習し、正しい消費行動ができるように学習していく。			
3	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫			
	・消費者被害の現状や背景について理解し、ロールプレイングをしながら予防の方法を理解する。 ・消費者を支えるしくみについて理解する。						つまずきやすいポイント	実際に陥ったことのない消費者被害が多いため、危機感を感じることなく、興味関心が低い。		
							工夫・手立て	生活の中で起こりそうな事例のビデオ教材を用いて学習を行い、実際に巻き込まれたときの、具体的な対応策について学習するようにする。		
	評価規準									
知識・技能	消費者被害の背景とその対応について理解している。消費者の基本的な権利と責任について理解している。				思考・表現・判断	消費者被害に陥ってしまう原因や防止策を考え、自立した消費者になるための工夫を考えることができる。		消費者被害の対応について、学習したことを生活に生かそうとしている。		
	定期考査					レポート・定期考査		授業観察・提出物・自己評価		